

令和四年三月二十二日(水)から四月一日(金)までの間、熊本地方合同庁舎及び情報流通会館から、この春の入隊・入校予定者に対する着隊支援業務を実施しました。

昨今の新型コロナウイルス感染症の影響も懸念される中、厳しい試験を見事合格、突破した入隊・入校予定者、三百八十名が、緊張しつつも入隊に対する意欲と熱意に満ちた面持ちで各日の集合時間に集合しました。

本期間は、前途を祝すような雲一つない快晴で且つ桜が咲き誇っており、入隊予定者達は、晴れ晴れとした表情で、家族や友人たちからの見送りの声援に元気に手を振り応えていました。

入隊予定者がバス等に乗り込む際には、握手をして激励の言葉をかける父親や、手にハンカチを握りしめ涙を拭う母親の姿など、我が子に對

「着隊支援業務」  
この国の未来を君に託す！旅立ち！

発行所  
自衛隊熊本地方協力本部  
〒860-0047  
熊本市西区春日2丁目10番1号  
熊本地方合同庁舎B棟3階  
TEL 096-297-2053

熊本地本 検索  
http://www.mod.go.jp/pco/kumamoto/

熊本地本 公式HP  
熊本地本 公式Twitter  
熊本地本 公式インスタ

## 令和3年度 募集成果

自衛官等募集におきましては、学校、自治体、関係機関、各協力団体等の皆様から多大なご支援・ご協力を賜りましたことをまずは紙面をお借りして深く御礼申し上げます。

令和3年度の募集業務は、前年度に引き続き少子化、高学歴化等、募集環境の厳しさに加えコロナ禍の影響を受けました。

令和3年度の募集実績は、1,478名の志願者を獲得し、陸海空自衛官等を380名入隊・入校させることが出来ました。

これは、本部及び各地域事務所並びに広報官の地道な努力のみならず、募集相談員や協力団体等のご協力のおかげであり感謝申し上げます。

令和3年度の自衛官募集業務におきましては、新型コロナウイルスに負けることなく、ここ「尚武の地」熊本の気風と伝統を受け継ぎ、組織力を最大限に発揮して、新たな施策を積極的に実施し、全ての募集種目の完全達成ができるよう、全身全霊で取り組んでまいります。引き続き、皆様のご支援・ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。



するご家族の強い想いを感じ、着隊を支援した我々も目頭が熱くなり、それぞれ目的地向け出発するバス等を本部長以下で盛大に見送りました。

自衛隊に対する国民の期待が益々高

令和3年度の成果			
種 目	目標(名)	志願者(名)	入隊者等(名)
一般幹部候補生	4	56	4
防衛大学校	11	推・総 10・1	推薦 9
		123	7
防衛医科 大学校	4	医 学 81	1
		看 護 20	3
高等工科 学校	15	推 薦 11	4
		一 般 31	7
航空学生	4	50	5
一般曹 候補生	男 子 151	413	143
	女 子 32	163	39
自衛官 候補生	男 子 97	348	96
	女 子 33	127	36
予備自衛官補	24	44	26
合 計	375	1,478	380

○ 各種目について一部を除き、達成することができました。ご支援・ご協力ありがとうございました。

まっけていく中、熊本地本は、これからの自衛隊を担っていく若者を一人でも多く、この熊本の地から送り出すべく、引き続き、募集活動に邁進していく所存です。



### 雇用企業様の声

企業名：星光ビル管理株式会社 九州営業本部

役職：熊本営業部長

**工藤 秀富 様**

#### 1 企業の概要及び事業内容等

弊社は1963年（昭和38年）に日本生命保険相互会社の本店ビル、投資ビルの管理をはじめ、「ビル総合管理業」をスタートしました。現在に至るまで、設備管理、施設警備、設備機器保守点検、清掃をはじめ、プロパティ・マネジメント、各種建物・設備の改修・修繕工事、オフィス・テナントサービスに至るまで、多様化するお客様のニーズにワンストップでサービスを提供しています。

#### 2 自衛官採用理由

業務に必要な不可欠な資格をお持ちの方がおられ、規律正しさ、真面目さ、協調性、責任感、行動力などにも定評のある退職自衛官の方々は弊社が求める人材と合致し、安心して職務をお願い出来ると期待し採用をさせて頂いています。

#### 3 退職自衛官の職務内容及び勤務の様子

主に設備管理、施設警備に従事しています。お客様に、「安心」「安全」「快適」を持続的に提供できる企業を目指すスローガンのもと誠実に、規則正しく着実に業務を行っています。

## 熊本地本援護組織の改編

～ 北熊本・健軍駐屯地援護センターの新編 ～

令和4年4月1日（金）、北熊本駐屯地及び健軍駐屯地にて熊本地域援護センター改編行事を実施しました。

これは、援護業務をこれまで以上に効果的、かつ、援護組織を効率的に保持するため、熊本地域援護センターの改編に併せて行われたものであり、この改編により、熊本地域援護センター長のもとに、企画係と援護係、そして、北熊本・健軍駐屯地援護センターを保持する体制となります。

改編行事には、本部長、援護課長、熊本地域援護センター長、北熊本駐屯地援護センター長の緒方1尉以下同駐屯地援護センター員、健軍駐屯地援護センター長の牧寺2尉以下、同駐屯地援護センター員らが出席しました。



北熊本駐屯地及び健軍駐屯地でそれぞれの駐屯地援護センター長が改編を報告し、本部長より看板が授与されました。本部長は訓示において、退職予定隊員に対する面談や教育機会等を通じた直接的な指導・助言等を行う援護の第一線の業務を実施する駐屯地援護センターとして、「隊員の希望・特性を踏まえた親身な指導・助言を行うこと」「企業を訪問し求人情報を入手している援護係との連携要領を早期に確立すること」の2つを要望し、両駐屯地援護センター員は就職援護業務への気持ちを新たにしました。



自衛隊熊本地方協力本部は、退職予定隊員の退職後の安定・安心した生活のため、企業の皆様のご支援・ご協力のもと、これからも就職援護業務に、部員一同努めていく所存です。

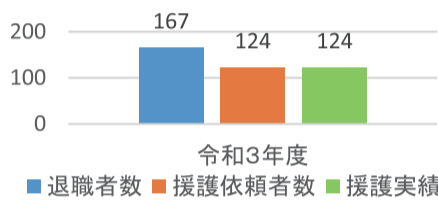
## 令和3年度 就職援護及び予備自衛官業務成果

令和3年度は、日本全体で新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が進む一方で、感染力の強い変異株が発生するなど、未だ出口の見えないコロナ禍の中、感染症対策と社会経済活動の両立を模索する1年となりました。

県内でも3度まん延防止等重点措置が適用され、年明けには1日の感染者数が過去最多を何度も更新するなど、勤務環境、生活様式等様々な面で大きな影響を受けました。県内の景気は、基調としては持ち直していますが、先行きはいまだ注視が必要という厳しい状況の中、熊本地本自衛隊退職者雇用協議会や雇用協力企業の皆様のご協力により、熊本地本の援護業務は再就職を希望する若年定年制退職隊員124名、任期制退職隊員24名全員の再就職が決定し、さらに予備自衛官業務におきましても即応予備自衛官の採用目標及び予備自衛官の充足目標を達成し、西部方面隊が必要とする一定の勢力を確保することが出来ました。これも、皆様方の平素よりのご支援、ご協力の賜物と深く感謝しております。

令和4年度は、前年度並みの再就職者が見込まれ、熊本地本一同、援護業務・予備自衛官業務の任務に邁進していく所存でありますので、どうか引き続き皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

若年定年制退職自衛官の就職援護状況



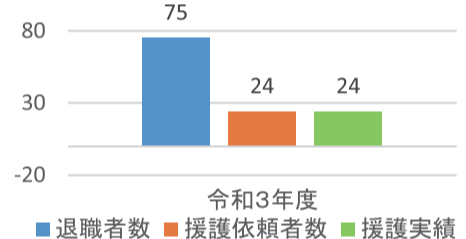
隊員による企業開拓



合同企業説明会



任期制退職自衛官の就職援護状況



## 防衛モニター終了者への感謝と新規委嘱者への期待を込めて

防衛モニターは、我が国の防衛問題及び防衛省・自衛隊に關し、広く国民一般の方の意見又は要望などを伺い、今後の諸施策に反映させることを目的に、防衛事務次官が委嘱するものであり、任期は二年となっております。

令和四年四月十九日（火）に任期を終えられる園田 希（そ）のぞみ様に対して、阿蘇地域事務所において副本部長より委嘱終了証を伝達し、当モニターとしての任期中のご尽力に対して感謝の言葉を述べました。

今回、任期を終えられた園田様（大学在学中）からは、「モニター終了後も、引き続き自衛隊に対するご支援を続けます。」とのありがたい言葉を頂きました。また、四月二十日（水）に令和四年度防衛モニター委嘱者の高田 啓世（たかた たかひろ）様に対して、人吉市に所在する高田酒造において、本部長より委嘱書の交付が行われました。

新たに委嘱された高田様からは「自衛隊の各種行事やイベントに積極的に参加させていただきます。ただくのを楽しみにしております。」との意欲的な意見を頂きました。今後も熊本地本では防衛モニターに対して、自衛隊の真の姿を見ていただき、建設的なご意見やご要望を頂けるよう支援を実施していきます。





# ゆめタウン光の森イベント

～大集合！！You♥me 地域と自衛隊で備える防災イベント～



令和4年4月24日（日）熊本県菊池郡菊陽町に所在する商業施設「ゆめタウン光の森店」の駐車場地域において、菊陽町役場と協力して「防災」をテーマとしたイベントを開催しました。

ゆめタウン光の森店は、多くの専門店及びシネマコンプレックスを有し、熊本県内のゆめタウンの店舗としては最大の売り上げを誇る大型ショッピングモールであり、平日はもちろん、週末はショッピングを楽しむ多くの人で賑わっています。

昨年は同店内において、自衛隊の災害派遣活動と装備品等のパネル展示及び、広報ビデオを放映して自衛隊の紹介のみを行って



ましたが、今回はコロナ感染症対策を徹底し、年々深刻化している自然災害に対して、「防災」をテーマに、2016年（平成28年）に発災した熊本地震、2020年（令和2年）熊本県南部で発災した令和2年7月豪雨を風化させぬよう、菊陽町役場は、災害時に使用するために保有する非常食及び防災に関連するパンフレットを、自衛隊は災害派遣時に使用する装備品、自衛隊の災害派遣活動を紹介するパネルの展示及びDVDを放映して、地域の皆様と今一度災害に対する意識の高揚を図りました。



自衛隊熊本地方協力本部は、各関係協力団体及び地域の皆様のご協力のもと、これからも地域と一体となった募集広報活動を、部員一同努めて参ります。

## これからのイベント予定



令和4年7月18日（月）海の日  
熊本港フェスティバル



令和4年7月23日（土）  
みすみ港まつり



令和4年8月23日（火）  
うと地蔵まつり



令和4年10月下旬  
みなと八代フェスティバル

※これらのイベント情報は予定ですので、新型コロナウイルス感染症の状況等により延期・中止等になる可能性があります。



## 体験搭乗

（陸上自衛隊高遊原分屯地）



令和4年4月9日（土）陸上自衛隊高遊原分屯地にて、今年度最初の体験搭乗（CH-47JA）が行われ、募集対象者及び退職自衛官雇用企業主等約110名の方々が参加しました。新型コロナウイルス感染症対策とい



うことで人数制限もあり、少数の方の搭乗となりましたが、搭乗された方々はとても満足されて帰っていきました。参加者の方々からは、「初めて自衛隊の航空機に乗ることができ、凄く楽しかった」などの感想が聞かれ、有意義な1日となったようです。

これからも、体験搭乗などのイベント情報を熊本地本公式HPやTwitter等で発信していきますので、楽しみにしてください。

